

総合体育大会（女子）

予選リーグ

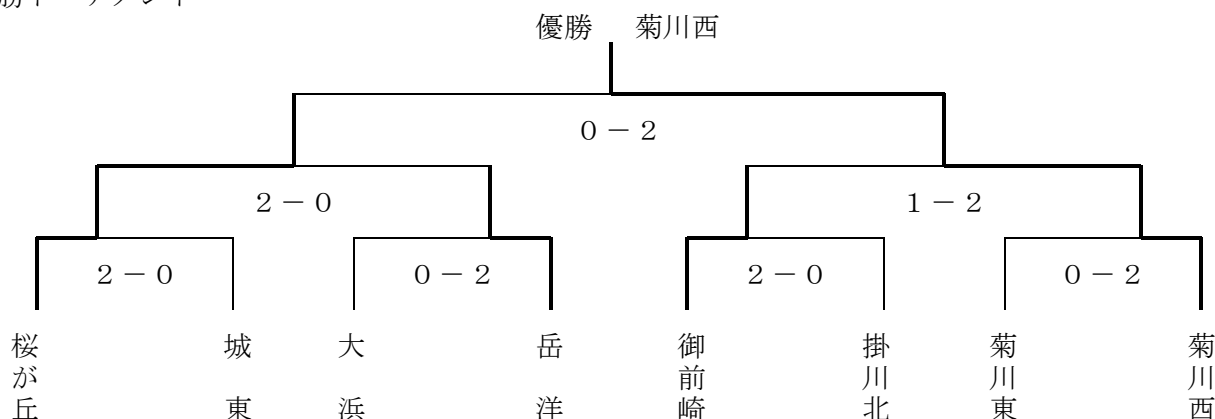
Aリーグ	桜が丘	菊川東	栄川
桜が丘		2 - 0	2 - 0
菊川東	0 - 2		2 - 1
栄川	0 - 2	1 - 2	

Cリーグ	大浜	御前崎	浜岡	掛川西
大浜		0 - 2	2 - 0	2 - 0
御前崎	2 - 0		2 - 0	2 - 0
浜岡	0 - 2	0 - 2		2 - 1
掛川西	0 - 2	0 - 2	1 - 2	

Bリーグ	菊川西	城東	原野谷
菊川西		2 - 0	2 - 0
城東	0 - 2		2 - 0
原野谷	0 - 2	0 - 2	

Dリーグ	掛川東	岳洋	掛川北	大須賀
掛川東		2 - 1	0 - 2	2 - 0
岳洋	1 - 2		2 - 0	2 - 0
掛川北	2 - 0	0 - 2		2 - 0
大須賀	0 - 2	0 - 2	0 - 2	

決勝トーナメント



大会寸評

掛川市立栄川中学校 岡村 直哉

今年度は、実力の拮抗したチームが小笠地区にひしめき合っており、14チームが意地とプライドをかけ、県大会出場1枠を争った。

大会1日目の予選リーグ、大会2日目の決勝トーナメント、どの試合も白熱した戦いが繰り広げられ、勝敗に関わらず悔いのない試合が行われていた。県大会出場をかける決勝戦。今年度の小笠地区を牽引してきた、どのプレーヤーも安定した技術力をもつ総合力の高い桜が丘中学校と、大黒柱といえる強力なセンタープレーヤーを有する菊川西中学校の戦いであった。1点の重みがひしひしと伝わる戦いの末、勢いに勝る菊川西中学校が県大会への切符を手に入れた。

菊川西中学校には、強豪小笠地区の代表として、ライバルたちの思いを背負い、県大会、そしてその先の大会を目指し、全力で戦ってきてほしいものである。

優勝作文

菊川市立菊川西中学校 市六 彩夏

「必笑」この言葉を合い言葉にして練習に励んできた。菊西のバレー、みんなで拾ってつないでエースに託す。そんなバレーを目指してきた。みんなでバレーをしたい。少しでも長くこのメンバーでバレーをしたい。そんな思いをもって大会当日を迎えた。

どのチームも最後の戦い、決して楽な試合ではなかったが、目標に掲げたとおりに勝ち上がることができた。いよいよ桜が丘との決勝戦。1点決まれば全員で飛び跳ねて喜び、悔いが残らないように楽しんでプレーした。守るのではなく、常に攻めの気持ちをもち続けながら試合に臨んだ。今まで一度も勝ったことのないチームに勝つことができた。みんなの目からは涙が溢れていた。今まで指導し、支え、応援して下さった先生方や保護者のみなさんに感動を届けることができた。

しかし、これで終わりではない。ここからが勝負だ。選手権での雪辱を果たさなければならない。小笠の代表として、今まで戦ってきたチームの思いを背負い、戦わなければならない。県大会では、笑顔で菊西らしいバレーをし、少しでも長くバレーを楽しみたい。